

注意報!!

営農掲示板

JAぎふ

トビロウンカの発生に注意!

トビロウンカの飛来が多く、水稻に大きな被害が発生しています。

1. 管内の発生動向

トビロウンカは、熱帯地域に生息しており、本州では越冬できませんが、大陸から気流に乗って飛来し、短期間で増殖する為、吸汁により坪枯れ被害を引き起こします。当JA管内でも被害が拡大しています。ほ場の見回りを徹底して頂き、水面近くの稲の株元を重点的に観察により被害防止をします。



トビロウンカ成虫



トビロウンカによる坪枯れ被害

2. 防除方法

農薬散布

農薬散布を実施する場合は、使用時期（収穫前日数）等の農薬使用基準を遵守してください。
適用病害虫ウンカ類・カメムシ類等

《スタークル粒剤》

10aあたり3kg/収穫7日前まで/3回以内

※湛水状態（3cm程度）で散布し、4～5日間は湛水状態を保ってください。

《スタークル液剤10》

10aあたり60～150ℓ散布/1,000倍/収穫7日前まで/3回以内

※薬液が株元にかかるように散布してください。

※液剤散布となりますので、散布するための動噴等の農機が必要です。

3. 栽培日誌

栽培日誌提出後に農薬散布を実施された方は、栽培日誌に記載が必要となりますので支店にお問い合わせください。

病防第125号
令和2年9月25日

各関係機関の長 様
(農政担当)

岐阜県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について(送付)
このことについて、下記のとおり発表したので、指導上の参考にしてください。

記
令和2年度病虫害発生予察注意報第7号
(トビイロウンカ)

令和2年度病虫害発生予察注意報第7号

令和2年9月25日
岐 阜 県

作物名 水 稲

病虫害名 トビイロウンカ

1 発生地域 県下全域

2 発生時期 9月下旬以降

3 発生程度 多い

4 予報の根拠

- (1) 9月中旬以降、美濃地域各地の水稲ほ場で坪枯れ症状が確認された。また、9月23日に行った調査では、岐阜・西濃地域において434ほ場のうち62ほ場で坪枯れが確認された(表)。
- (2) 各地域の予察灯において本種の誘殺が確認され、直近では9月12日に岐阜市に設置した予察灯で誘殺が確認された。
- (3) 晩生品種(ハツシモ岐阜SL)等において、被害が拡大する恐れがある。
- (4) 名古屋地方気象台の1か月予報(9月19日~10月18日)では、気温が高く推移すると予想されており、さらに増殖が助長される恐れがある。

5 防除上の注意事項

- (1) 坪枯れが確認されたほ場周辺では、本種が発生している可能性が高いため、早急に防除する。
- (2) 本種の生息部位は、水面近くの株元であるため、薬剤は株元にかかるよう丁寧に散布する。
- (3) 農薬の使用にあたっては、最新の登録情報を参照し、適正に使用する。特に、使用時期(収穫前日数)には十分に注意する。

(https://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm 農林水産消費安全技術センター)

表 岐阜・西濃地域における坪枯れ発生状況（9月23日調査）

調査地点	調査ほ場数	坪枯れほ場数
岐阜市安食	38	0
岐阜市寺田	67	25
瑞穂市祖父江	22	6
大垣市大島町	58	5
大垣市墨俣	16	0
安八町	68	0
輪之内町	101	0
池田町粕ヶ原	25	6
池田町池野	25	8
池田町市橋	14	12
計	434	62